



J-SUPPORT

Japan Supportive, Palliative and
Psychosocial Oncology Group

参加費 **無料** 定員 **250名**

どなたでも参加できます! (がん患者・ご家族・一般市民・医療者)
研究者・行政・メディアの皆さん

**完全
WEB
開催**

第5回 研究成果報告会

患者・市民とともにあゆむ

J-SUPPORT

～支持・緩和・心のケア開発を目指して～

2023年 **10月15日(日)** 13:20開場
13:30～16:30

私たちはがん患者さんのQOL向上を目指し、支持療法(副作用を制御する治療)、緩和治療(がんによる症状の緩和)、心理社会的ケア・サバイバーシップケア(がんや治療によって生じる気持ちのつらさや生活上の問題への働きかけ)の研究を進めてきました。

第5回となる今回はJ-SUPPORT研究『抗がん剤で生じる手足症候群に対する予防的なケアを考える』の成果報告と、患者・市民参画(PPI: Patient and Public Involvement)による支持・緩和・心のケア開発について、患者・家族・市民・医療者などの視点からディスカッションを行います。

お申込み方法

こちらのリンクからお申込みください。 <https://ws.formzu.net/dist/S170552891/>

お申込み受付後にWEBシステム(ZOOM)の参加IDをメールでご案内いたします。

お申込み締切: 2023年10月1日(日)



お問い合わせ先

J-SUPPORT 研究成果報告会 事務局 j-support_results@ncc.go.jp

ジェイ サポート

J-SUPPORTとは

がん支持療法、緩和ケア、心のケアに関する多施設共同研究をオールジャパン体制で支援する臨床研究グループです。詳細は下記URLもしくはQRコードよりご覧ください。

<https://www.j-support.org/>



【主催】 J-SUPPORT 日本がん支持療法研究グループ

【共催】 一般社団法人 全国がん患者団体連合会、SaQRA 日本がんサバイバーシップ研究グループ

【運営支援】 キャンサー・ソリューションズ株式会社

本報告会は、全国がん患者団体連合会(全がん連)が運営をお手伝いしています。

全がん連には53団体が加盟していて、政策提言や「がん患者学会」の開催、がん教育委員会、緩和ケア委員会、

サバイバーシップ委員会、政策提言委員会、ピアサポート委員会、PPI委員会がありそれぞれの委員会活動などを行っています。

プログラム

13:30～13:35

総合司会：松本 陽子（愛媛がんサポート おれんじの会）

13:35

開会挨拶

13:40

島田 和明（国立がん研究センター中央病院長）

体験談

13:40

がんを抑えるため。とはいえ痛い！手足症候群

13:50

発表者：櫻井 公恵（NPO法人 GISTERS）

13:50

研究成果報告

14:30

抗がん剤で生じる手足症候群に対する予防的なケアを考える（J-SUPPORT1701）

進行：櫻井 公恵（NPO法人 GISTERS）

櫻井 なおみ（一般社団法人 CSRプロジェクト）

発表者：柳 朝子（国立がん研究センター中央病院 看護部）

共同研究者：高島 淳生（国立がん研究センター中央病院 消化管内科）

14:30～15:00

質疑応答

15:00～15:05

休憩

パネルディスカッション

患者・市民とともにあゆむ支持・緩和・心のケア開発
テーマ／手足症候群

15:05

進行：全田 貞幹（J-SUPPORT）

15:45

登壇者：西田 久美子（女性のがん 当事者会 つばなの会）

東くるみ（乳がん患者会 あげぼの会 香川支部）

高島 淳生（国立がん研究センター中央病院 消化管内科）

柳 朝子（国立がん研究センター中央病院 看護部）

15:45

J-SUPPORT成果のまとめ

15:55

内富 庸介（J-SUPPORT 代表）

15:55

閉会挨拶

16:00

中釜 斉（国立がん研究センター 理事長）

16:00

交流会 ※ご参加はご自由にどうぞ

16:30

テーマ：あれこれ言いたい支持・緩和・心のケア